

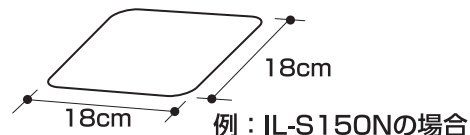
## 施工方法

- ご購入後、本品を晴天時の直射日光に3時間以上当てた後、暗い場所で点灯するかを確認してください。
- 設置予定の場所は、晴天時1日3時間以上直射日光の当たる場所であることを事前に確認してください。それ以外の場所に設置すると点灯しないおそれがあります。

# コンクリート、アスファルトに設置する場合の施工

## 1. 削孔

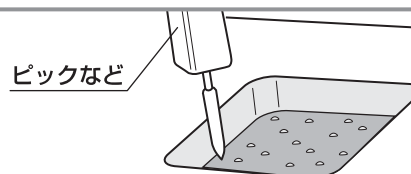
削孔の目安は製品サイズプラス3cmとします。



## 2. 舗装取り壊し

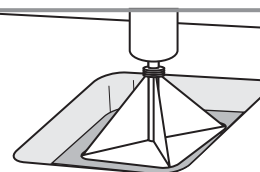
ピックなどにより周囲を壊さないように施工部分を取り壊します。

※深さの目安は10cm



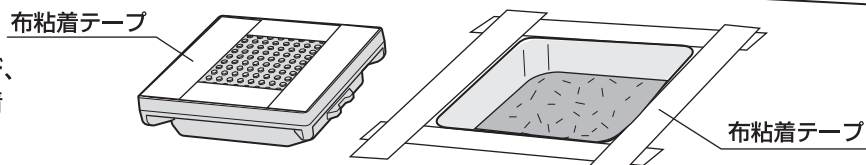
## 3. 基面の転圧

転圧機などにより基面を転圧します。



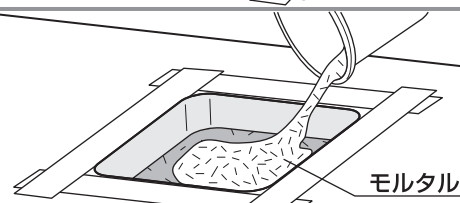
## 4. マスキング

モルタルが本品のフタや押さえ板、および、周囲に付着しないよう、図のように布粘着テープなどでマスキングをします。



## 5. 下地

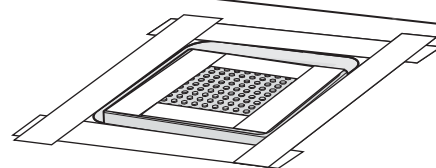
下地モルタルを適量流し込みます。



## 6. 設置レベル調整

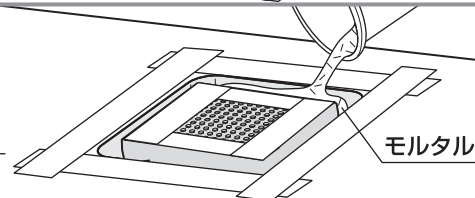
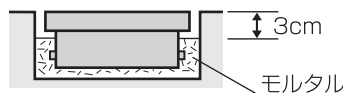
本品を下地の上に載せ、表面の縁の高さが周囲の地面の高さと同じになるように調整します。

※金尺やまっすぐな棒などでレベル調整します。



## 7. モルタル注入

本品の表面から3cm下がった位置まで、モルタルを徐々に流し込みます。

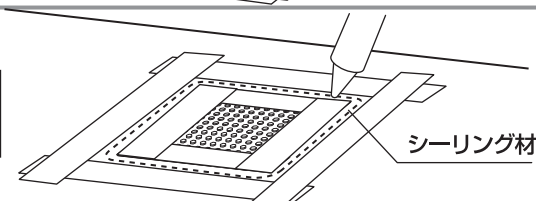


## 8. 仕上げ

モルタルが固まってから、シーリング材ですき間を埋めます。

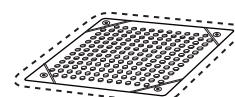
※モルタルだけで埋設すると、モルタル表面のヒビ割れの原因になります。

推奨シーリング材	
シーリングメーカー	品名・品番
信越化学工業	シーラント72
セメダイン	シーラント8051N



## 9. 養生

シーリング材がしっかり固まるまで養生します。  
養生後、マスキングしたテープをはがします。



# インターロッキングブロックとしての施工

## 1. 路盤

本品の厚みは6cmですから、プラス3～5cmの深さに掘り路盤を平らにします。

## 2. 下地

全体に砂を約3～5cm程になるように敷き詰めした後、足などで踏み固めながら平らにします。

## 3. 設置

本品を下地の上へのせ、表面の高さが周囲の高さと同じになるように調整します。

## 4. 設置レベル調整と仕上げ

仕上げには、ウエスなどで本品の表面を保護して、ゴムハンマーなどで叩きながら平坦にします。さらに乾燥した細目の砂を目地に充填されるまで詰めます。最後に余分な砂を取り除き仕上げとします。

### 故障かな？と思ったら

●下記の点検をしていただき、それでも不具合がある場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	調べる所	直し方
発光部が暗い または発光するが すぐ消えてしまう	日中、ソーラーパネル部が樹木や建物の日陰になりませんか？	日中、樹木や建物の日陰にならない所に設置場所を変更してください。
	製品の表面に汚れはありますか？	水で湿らせた柔らかい布で製品の表面の汚れやホコリをふき取ってください。
	日中、曇りや雨の日が続いていませんか？	内蔵のコンデンサに十分充電されていない可能性があります。晴天の日により直射日光に当て再確認してください。
発光部が発光しない	設置場所付近に明るい照明がありませんか？	近くに明るい照明がない所に、設置場所を変更してください。
	製品の表面に汚れはありますか？	水で湿らせた柔らかい布で製品の表面の汚れやホコリをふき取ってください。